

第15編 消 防

消防本部

1 消防職員・団員の定数と現員

(1) 消防職員

(令和4年4月1日現在)

区分	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
定数	1	5	18	40	102	83	0	70	1	320

(2) 消防団員

(令和4年4月1日現在)

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定数	1	5	18	18	61	78	329	510
現員	1	5	18	18	55	60	241	398

2 市勢と現有消防勢力の対比

(1) 本部・署

(各年4月1日現在)

年別	区分 職員数	消防職員1名に対する			署・支署に対する			消防車1台に対する		
		面積km ²	世帯	人口	面積km ²	世帯	人口	面積km ²	世帯	人口
2	326	6.55	301	531	213.64	9,801	17,319	142.43	6,534	11,546
3	320	6.68	305	534	213.64	9,770	17,181	133.53	6,106	10,675
4	320	6.68	303	528	213.64	9,699	16,907	133.53	6,062	10,567

(2) 消防団

(各年4月1日現在)

年別	区分 団員数	消防団員1名に対する			1分団に対する			消防車1台に対する		
		面積km ²	世帯	人口	面積km ²	世帯	人口	面積km ²	世帯	人口
2	421	3.2	223	393	75.7	5,219	9,199	47.01	3,240	5,710
3	411	3.3	228	397	75.7	5,202	9,074	47.01	3,229	5,632
4	398	3.4	233	406	75.7	5,166	8,984	48.69	3,321	5,775

(3) 消防車・救急車の出動回数について

ア 火災・警戒出動概要

令和3年中の出動状況は48件の火災が発生し延べ328台の車両、1,346名の隊員が出動し消火活動を実施、その概要は次表のとおりである。

(ア) 火災出動状況

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		火災件数	7	3	1	6	1	5	3	3	4	5	4	6
出動台数	消防署	54	12	8	39	3	21	15	20	25	16	22	39	274
	消防団	11	4	3	7	0	2	2	4	4	3	5	9	54
	計	65	16	11	46	3	23	17	24	29	19	27	48	328
出動人員	消防署	182	36	34	146	12	71	47	65	91	56	70	134	944
	消防団	82	20	30	68	0	13	11	17	25	23	31	82	402
	計	264	56	64	214	12	84	58	82	116	79	101	216	1,346

(イ) 警戒出動状況

区分 出動種別	件数	出動台数(台)			出動隊員数(人)		
		消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
警報器等	72	139	2	141	532	11	543
油・ガス	119	246	0	246	905	0	905
集合煙突	2	2	0	2	10	0	10
異常燃焼	7	10	0	10	44	0	44
その他	842	1,972	24	1,996	7,293	189	7,482
計	1,042	2,369	26	2,395	8,784	200	8,984

(ウ) 火災・警戒出動状況の推移

区分		年次別	元	2	3
火災出動	件数(件)		86	57	48
	台数(台)		665	427	328
	人員(名)		2,485	1,797	1,346
警戒出動	件数(件)		784	836	1,042
	台数(台)		1,783	1,864	2,395
	人員(名)		6,605	7,215	8,984

イ 救助出動概要

令和3年中の救助出動は41件で、これに対し209台の車両、808名の隊員が出動し業務を遂行した。
事故種別ごとに出動件数をみると、交通事故及び水難事故が全体の73.2%を占めている。

(ア) 前年比救助出動状況

年別比較 件数	3(A)	2(B)	比較増減	
			件数(C)	(C)/(B)
出動件数	41	41	増減なし	増減なし

(イ) 事故種別出動状況

種別 件数等	交通事故	水難事故	機械による 事故	建物等に よる事故	その他	計
出動件数(件)	22	8	0	0	11	41
出動台数(台)	121	52	0	0	36	209
出動人員(名)	461	194	0	0	153	808

(ウ) 署々別出動状況

方面別 件数	中央方面(うち東方面)	西方面	計
出動件数(件)	22(4)	19	41

(エ) 救助出動件数の推移

年次別 件数	元	2	3
出動件数(件)	52	41	41

ウ 救急活動概要

(7) 資格者及び救急隊の状況（令和4年4月1日現在）

- a 救急救命士 資格者 76名
- b 救急課程 資格者128名
- c 救急隊の配置状況
 - ・中央救急隊
 - ・東救急隊
 - ・愛国救急隊
 - ・西救急隊
 - ・阿寒救急隊
 - ・阿寒湖温泉救急隊
 - ・音別救急隊
 - ・白糠救急隊

計 8 隊運用（全隊高規格救急自動車導入）

(i) 年次別救急出動状況

令和3年の救急出動件数は10,346件、搬送人員9,411人で、前年に比べ出動件数においては943件増加し、搬送人員においても835人増加した。これは、住民18人に1人が救急車によって搬送されたことになる。また、1日平均28.3件出動したことになる。

年次別救急出動状況の推移

年 別	元	2	3
出動件数（件）	10,322	9,403	10,346
搬送人員（人）	9,625	8,576	9,411
1日平均出動件数（件）	28.3	25.7	28.3

(ii) 事故種別救急出動状況（令和3年）

救急出動件数を事故種別ごとにみると、下記のとおり急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっている。

区 分	急 病	一般負傷	交通事故	その他	計
件数（件）	7,088	1,305	342	1,611	10,346
全件数に対する割合（%）	68.5	12.6	3.3	15.6	100

3 令和3年の火災状況

火災件数	48件	(57件)
焼損床面積	764㎡	(1,019㎡)
焼損表面積	284㎡	(358㎡)
損害額	28,740千円	(71,154千円)
死者	0名	(3名)
負傷者	5名	(10名)
林野	0 a	(115 a) ※ () は前年数値

(1) 火災概要

令和3年中の火災は48件発生し、前年の57件より9件（15.8%）減少、20世帯、41名が災した。

火災種別では、建物火災29件（全火災の60.4%）、車両火災6件（全火災の12.5%）、林野火災、船舶火災及び航空機火災の発生は無く、その他の火災13件（全火災の27.1%）となっている。

前年と比較すると建物火災は6件減少、車両火災は4件減少、林野火災は2件減少、船舶火災は1件減少、航空機火災は前年と同様発生は無く、その他の火災は4件増加している。

建物焼損面積合計は、1,048㎡で前年の1,377㎡より329㎡減少し、建物火災1件あたりで比較すると焼損面積は1件あたり36.1㎡を焼失、前年の39.3㎡より3.2㎡の減少となっている。

損害額は、2,874万円で前年の7,115万4千円より4,241万4千円減少し、火災1件あたり59万9千円の損害を受けたことになる。

死者が発生した火災はなく、前年の3名より3名減少、負傷者は5名で前年の10名より5名減少となっている。

(2) 火災統計

ア 月別火災状況

火災を月別にみると、1月が7件（全火災の14.6%）で最も多い。最も少ない月は3月と5月の1件となっている。月平均4件の火災が発生している。

イ 出火原因別の火災発生状況

電気関係8件（16.7%）、ストーブ6件（12.5%）、こんろ4件（8.3%）、たばこ、煙突・煙道各2件（各4.2%）となっている。

4 消防車両等の現況

種 別		管 理 区 分					合 計
		消防本部	中央署	西署	東分署	消防団	
消防ポンプ自動車	普通	-	1(1)	-	1(1)	17	19(2)
	水槽付	-	3(1)	8(1)	3(1)	2	16(3)
はしご自動車	直伸	-	1	1	-	-	2
	屈折	-	1	-	-	-	1
化学消防車		-	-	1	1	-	2
特 殊 車	指揮隊車	-	1	-	-	-	1
	機材運搬車	-	-	5	-	-	5
	小型はしご車（12m級）	-	1	-	-	-	1
	救助工作車	-	1	-	-	-	1
	災害支援車	-	-	-	1	-	1
	小型動力ポンプ付水槽車	-	1	3	-	-	4
	小型動力ポンプ積載車	-	-	-	-	9	9
救急車		-	3(1)	7(1)	2(1)	-	12(3)
その他の車両	緊急車	4	3	4	2	-	13
	その他	4	-	1	-	-	5
合 計		8	16(3)	30(2)	10(3)	28	92(8)

※（ ）内は予備車の内数を示す

5 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(1) 防疫等作業手当支給事業

防疫等作業手当の特例による新型コロナウイルス感染症対応（疑いも含む）に従事した救急隊員等へ支給。

(2) 救急出動時等感染防止対策事業

救急隊員や消防隊員に対する新型コロナウイルス感染防止を目的とし、そのために必要な感染防止資器材の購入や医療廃棄物の処理等を行う。